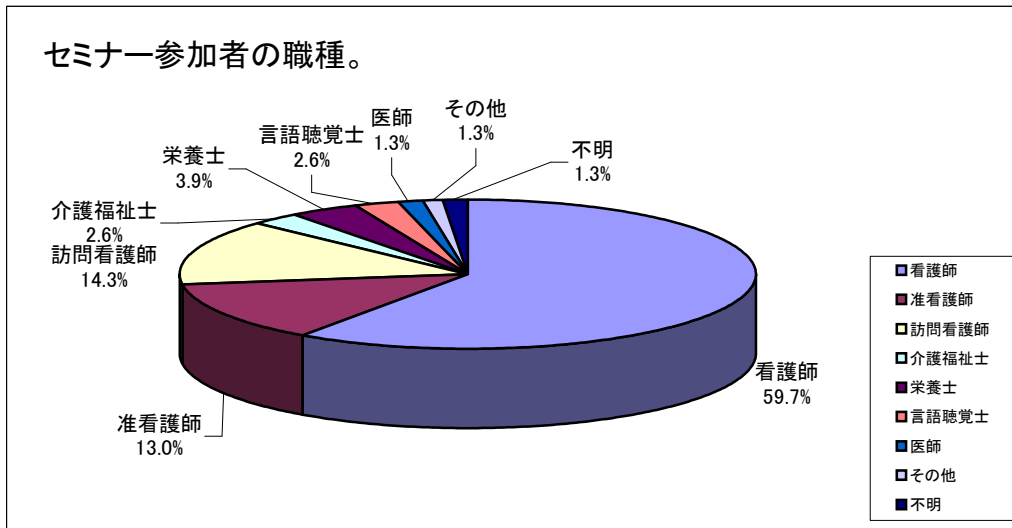


弘前PDNセミナー（平成17年10月）

アンケート集計結果

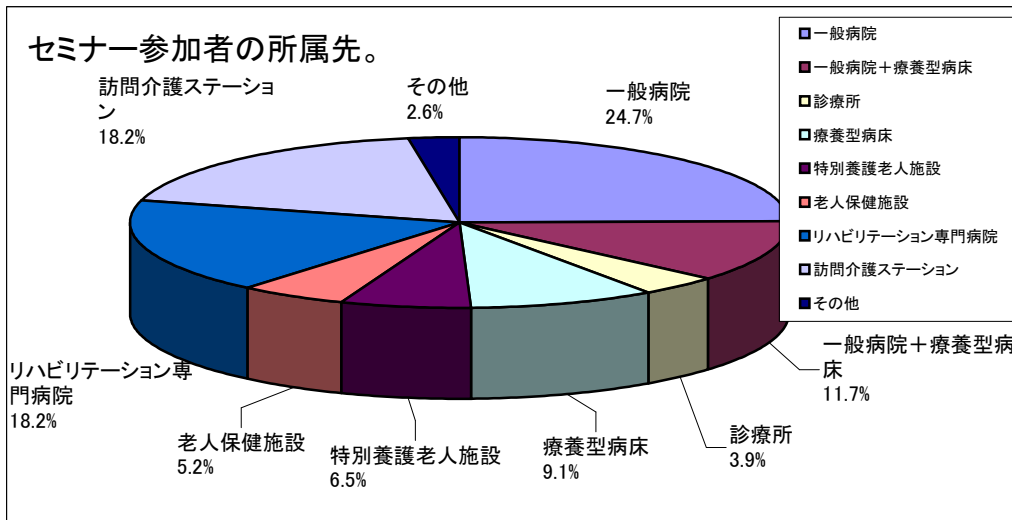
I. セミナーには、どのような方が参加したのか？

□ 職種。



N=77

□ 所属先。



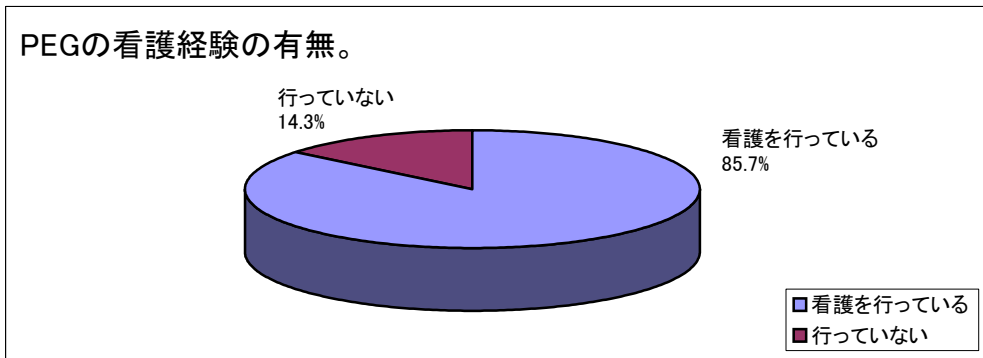
N=77

□ 所属先の所在地。

N 100%=	弘前市	黒石市	藤崎市	北津軽郡	南津軽郡	不明
77	59 76.6	1 1.3	1 1.3	3 3.9	12 15.6	1 1.3

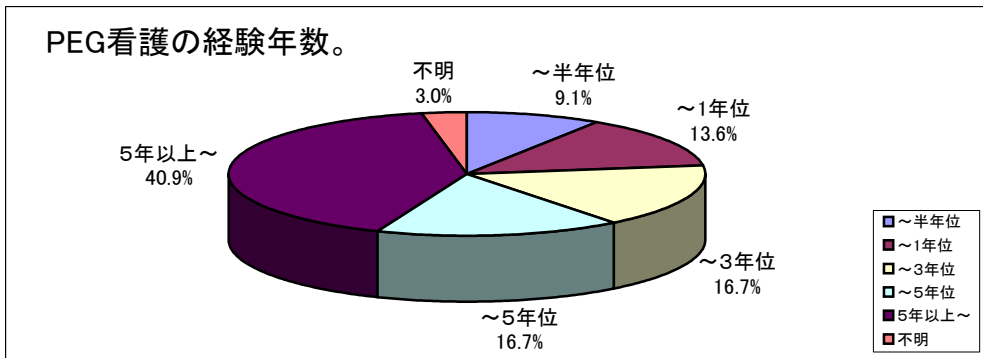
II. セミナー参加者のPEGとの関わり。

□ PEGの看護経験の有無。



N=77

□ PEG看護の経験年数。(看護を行っている人について)



平均: 3.705年

N=66

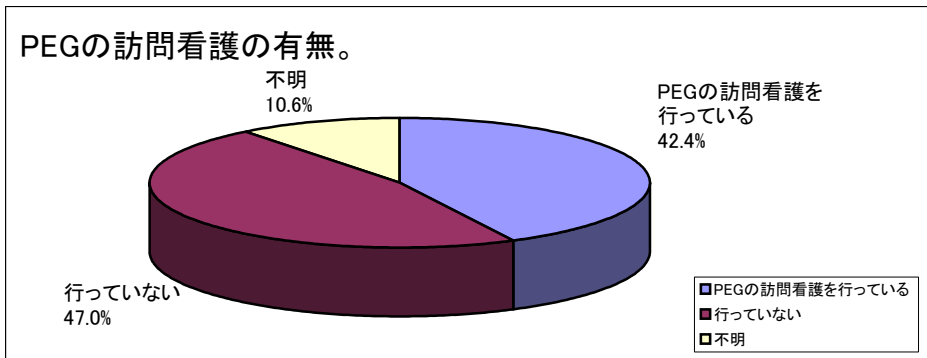
□ 所属先の胃ろうを入れられた患者さんの有無と人数。(看護を行っている人について)

N 100%=	胃ろうを入れられた患者さんがいる						不明
	計	～5人	～10人	～20人	20人以上～		
66	61 92.4	30 45.5	8 12.1	6 9.1	8 12.1	9 13.6	

(つづき)

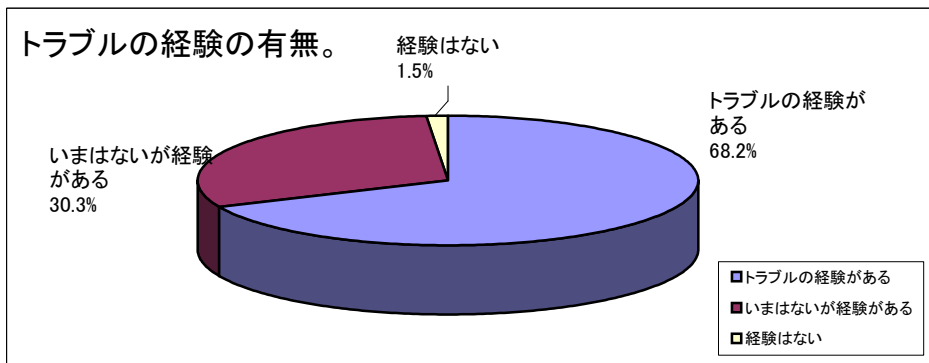
N 100%=	患者さんは いない	不明
66	3 4.5	2 3.0

□ 所属先のPEGの訪問看護の有無。(看護を行っている人について)



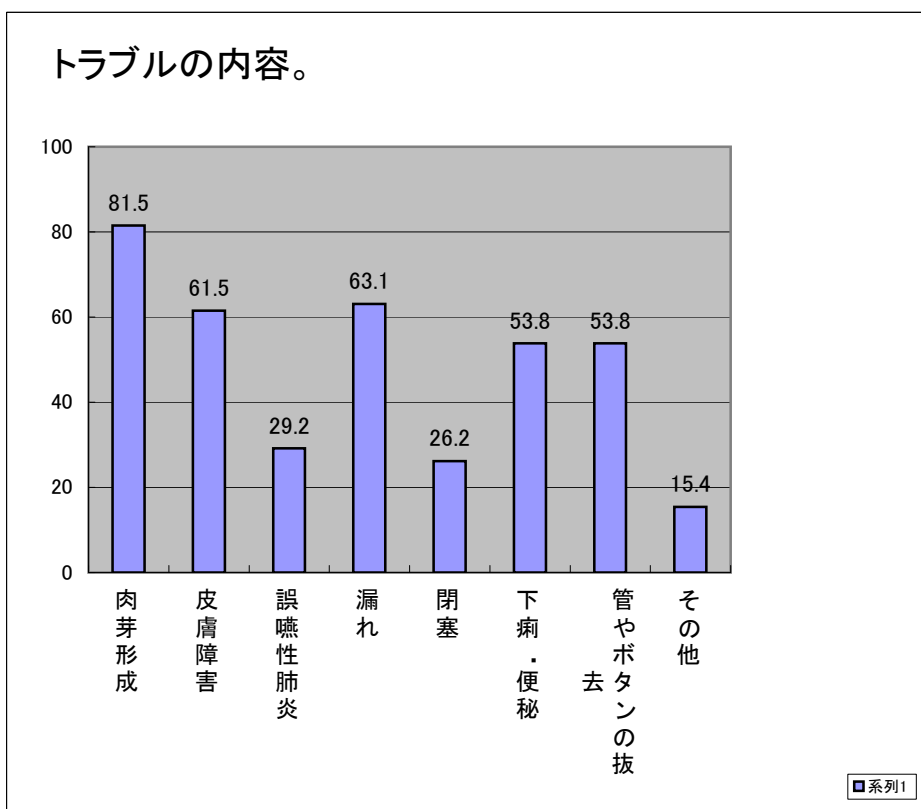
N=66

□ 看護の中でのトラブルの有無。(看護を行っている人について)



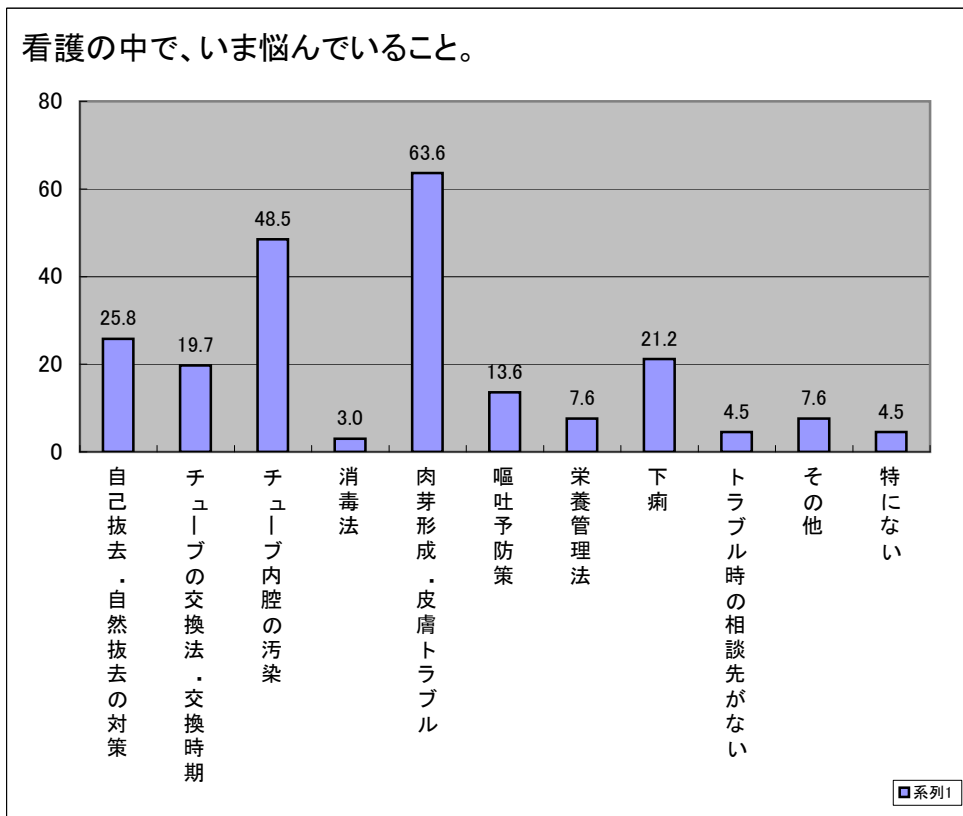
N=66

□ トラブルの内容。(看護を行っている人で、トラブルの経験がある人について)



単位：% N=65

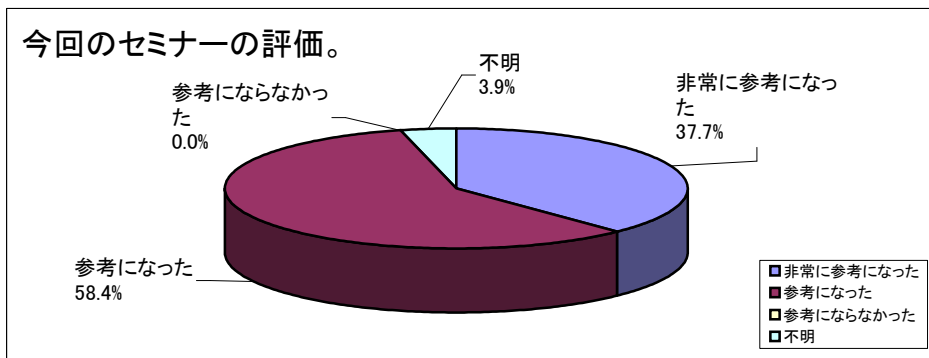
□ 看護の中で、いま悩んでいること。(看護を行っている人について)



単位：% N=66

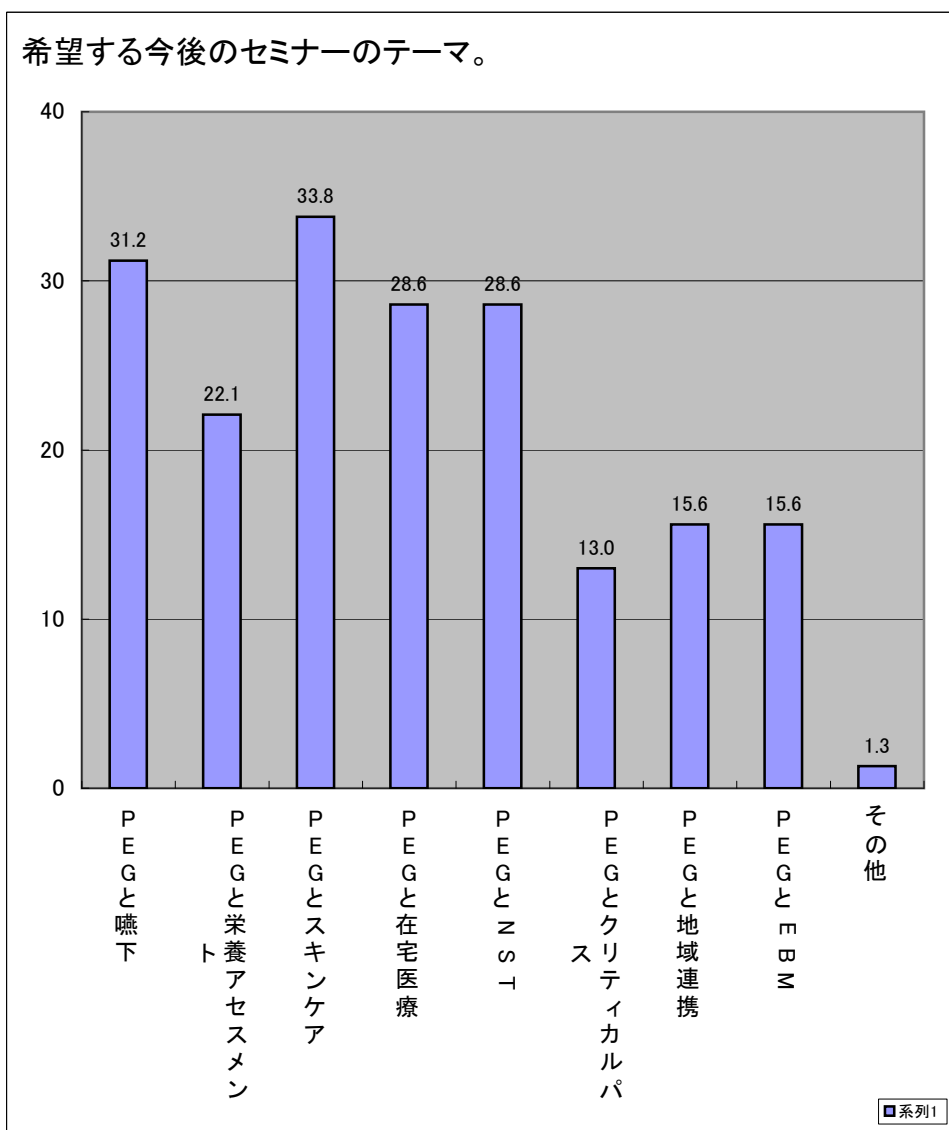
Ⅲ. セミナーの評価と希望。

□ 今回のセミナーの評価。



N=77

□ 希望する今後のセミナーのテーマ。



単位: % N=77

IV. 自由回答意見。

問. PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか？どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をおきかせください。

- 今回のセミナーのように、正しい知識や情報を得る機会がもっとあればよいと思う。
そうすれば、得た情報を患者さんやご家族に広めることができる。(看護師、療養型病床)
- 各地でセミナーを頻繁に開いてほしい。(医師、一般病院)
- 定期的なセミナーが必要。(看護師、一般病院)
- 第2回目のセミナーが楽しみ。(看護師、一般病院)
- 医師の係わりが必須なので、医師会等もセミナー開催に協力して欲しい。(看護師、一般病院)
- 医師もこのようなセミナーに参加して、スキントラブルに的確に対処して欲しい。(看護師、リハビリテーション専門病院)
- PEGを施行する医師の古い、誤った知識を改めるべきだ。また、スタッフが共通した知識を習得することも必要だ。(看護師、一般病院)
- 医師のPEGに対する知識を向上させることが必要。(看護師、リハビリテーション専門病院)
- 医師を含めて、正しい理解や情報の共有が必要。主治医によっては相談しても正しい返答がなく、困ったことがあった。(訪問看護師、訪問看護ステーション)
- 実際の看護・介護にあたる施設の看護師、介護福祉士にも共通した知識と理解が必要。(看護師、一般病院)
- 施設のスタッフや嘱託医にももっとPEGのことを学習してほしい。交換やトラブルについての知識を高めてほしい。そのためにも施設を対象にした学習会を毎年開いてほしい。(看護師、一般病院+療養型病床)
- 造設後の管理していく人、施設スタッフの学習会参加で、理解を高めていくべきだ。(看護師、一般病院)
- ご家族に管理上のリスクも理解させていくことが必要。また、造設後の施設や入所施設が正しく管理できるような知識の向上が必要。(看護師、一般病院)
- 基本的な管理方法が必要。(言語聴覚士、一般病院)
- 胃ろうの管理とケアの知識が必要。(一般病院+療養型病床)
- PEGの造設時には口腔ケアが大切だと思うが、きょうのセミナーではそのことが出てこなかった。(看護師、リハビリテーション専門病院)
- PEGを造設した後の生活のイメージを訴えていくことも必要。(看護師、診療所)

『弘前PDNセミナー』アンケート

回収サンプル数:77サンプル

Q1. あなたは、現在、PEGの看護を行っていますか？

1. 行っている(85.7%) 2. 行っていない(14.3%)

↓

└ ⇒Q8へ

(N=66)

Q2. PEGの看護を行うようになってから何年になりますか？

1. ~半年位(9.1%) 2. ~1年位(13.6%) 3. ~3年位(16.7%)
4. ~5年位(16.7%) 5. 5年以上~(40.9%) 不明(3.0%) 平均:3.705年

Q3. 現在、胃ろうを入れられた患者様は御施設に何人いらっしゃいますか？

1. いる(92.4%) ()名 2. いない(4.5%) 不明(3.0%)

Q4. 御施設ではPEGの訪問看護を行っていますか？

1. 行っている(42.4%) 2. 行っていない(47.0%) 不明(10.6%)

Q5. 看護の中で、トラブルにあったことがありますか？

1. ある(68.2%) 2. いまはないが経験がある(30.3%) 3. ない(1.5%)

↓

Q6. どんなトラブルでしたか？(いくつでも)

1. 肉芽形成(81.5%) 2. 皮膚障害(61.5%) 3. 誤嚥性
肺炎(29.2%) 4. 漏れ(63.1%) 5. 閉塞(26.2%) 6. 下痢・
便秘(53.8%) 7. 管やボタンの抜去(53.8%) 8. その他
15.4%

Q7. 看護の中で、いま悩んでいるものはどれですか？(いくつでも)

1. 自己抜去・自然抜去の対策(25.8%) 2. チューブの交換法・交換時期(19.7%)
3. チューブ内腔の汚染(48.5%) 4. 消毒法(3.0%) 5. 肉芽形成・皮膚トラブル
(63.6%) 6. 嘔吐予防策(13.6%) 7. 栄養管理法(7.6%) 8. 下痢(21.2%)
9. トラブル時の相談先がない(4.5%) 10. その他(7.6%) 11. 特にない(4.5%)

Q8. きょうのセミナー「弘前PDNセミナー」は参考になりましたか？

1. 非常に参考になった(37.7%) 2. 参考になった(58.4%) 3. 参考にならなかった(0.0%) 不明(3.9%)

Q9. 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

1. PEGと嚥下(31.2%) 2. PEGと栄養アセスメント(22.1%) 3. PEGとスキンケア(33.8%)
4. PEGと在宅医療(28.6%) 5. PEGとNST(栄養管理チーム)(28.6%) 6. PEGとクリティカルパス
(13.0%) 7. PEGと地域連携(15.6%) 8. PEGとEBM(根拠にもとづいた医療)(15.6%)
9. その他(1.3%)

Q10. あなたは次のどれにあたりますか？

1. 看護師(59.7%) 2. 准看護師(13.0%) 3. 訪問看護師(14.3%) 4. 介護福祉士(2.6%) 5. 薬剤師
(0.0%) 6. 栄養士(3.9%) 7. 言語聴覚士(2.6%) 8. 理学療法士(0.0%) 9. 臨床心理士(0.0%)
10. 医師(1.3%) 11. その他(1.3%) 不明(1.3%)

Q11. あなたの所属先は？

1. 一般病院(24.7%) 2. 一般病院+療養型病床(11.7%) 3. 診療所(3.9%) 4. 療養型病床(9.1%)
5. 特別養護老人施設(6.5%) 6. 老人保健施設(5.2%) 7. リハビリテーション専門病院(18.2%)
8. 訪問介護ステーション(18.2%) 9. その他(2.6%)

Q12. 所属先の所在地は？

弘前市(76.6%) 黒石市(1.3%) 藤崎市(1.3%) 北津軽郡(3.9%) 南津軽郡(15.6%) 不明(1.3%)

